

広報たかなべ

2010. 5. 21 NO. 364



- ・新たな高鍋町総合計画を策定しました
- ・平成22年度予算
- ・シリーズ 子どもがにぎわうまちづくり⑩
- ・平成22年度 消防団幹部・部長紹介
- ・平成22年度 行政事務連絡員紹介
- ・姉妹都市交流 米沢市長による授業
- ・まちの話題
- ・大雨や洪水などの気象警報・注意報が市町村ごとに発表されます
- ・わが町の宝物

4月15日、高鍋町内の東西小学校1年生は「初めての給食」を食べました。

西小学校1年3組の皆さんは、6年生のお兄さんやお姉さんが配膳をしてくれる間、静かに待つことができました。そしていよいよ…「いただきます！」とても楽しみにしていた給食時間とあり、かわいいい笑顔が見られましたが、意外に緊張した表情だったのがまた微笑ましく感じられました。

新たな高鍋町総合計画を策定しました

住民参画による快適で美しいまち「たかなべ」
子どもがにぎわうまちづくりをめざして

第四次高鍋町総合計画（平成十二年度～平成二十一年度）におけるまちづくりの事業を継承するとともに、本町を取り巻く環境の大きな変化に的確に対応し、向こう七年間のまちづくりの指針となる高鍋町総合計画第五次基本構想を新たに策定しました。この計画が、本町の厳しい現状を乗り越え、さらに、いつまでも住み続けたい魅力ある町として発展していくため、また、町民と町行政の協働による新たなまちづくりの大きな契機となるよう、その実現に向け取り組んでいきます。

第五次総合計画の特徴

◆町の最上位の計画

総合計画は、町が行うすべての施策や事業の根拠となる最上位の計画です。分野ごとに作られる計画も、総合計画との整合性が必要です。



◆協働のまちづくりを柱にした計画

計画を貫く考え方である「協働」によるまちづくりを進めるため、「行政」「町民や事業者等」それぞれの役割分担を掲載しました。

◆計画の着実な推進

副町長を委員長とする「高鍋町事務事業評価委員会」および民間の有識者等からなる「高鍋町外部評価委員会」を中心に、計画の進行管理や達成度の検証を行うなど、PDCA サイクルを繰り返しながら、計画の着実な推進を図ります。

※PDCA サイクルとは、Plan / Do / Check / Action の頭文字を揃えたもので、計画 (Plan) ⇒ 実行 (Do) ⇒ 検証 (Check) ⇒ 改善 (Action) の流れを次の計画に活かしていくことをいいます。

基本構想とは？

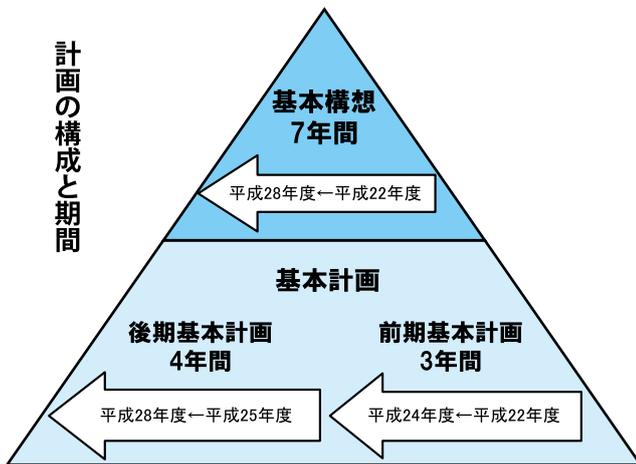
長期的展望に立ち、まちづくりの基本方針・目標など目指すべき姿を明らかにしたものです。

高鍋町の将来像『住民参画による快適で美しいまち「たかなべ」～子どもがにぎわうまちづくり～』とそれを実現するための5つの基本目標を定めました。

基本計画とは？

基本構想で定めた目標を実現するために必要な施策などを具体的に示したものです。

今回策定した計画は、前期の3年間の内容となります。後期4年間の計画は、前期計画の成果や進捗状況を踏まえ、平成24年度に策定する予定です。



住民参画による快適で

美しいまち「たかなべ」

子どもがにぎわう

まちづくりを目指して

高鍋町長 小澤 浩一



このたび、高鍋町総合計画第五次基本構想を策定いたしました。

本町がまちづくりを進めるにあたり、『住民参画による快適で美しいまち「たかなべ」～子どもがにぎわうまちづくり～』を目指し、時代の流れを的確に捉えながら、本町の特性を生かした魅力あるまちづくりに取り組むため、本町が行わなければならないことを明らかにしたものであります。

今、わが国を取り巻く状況は、急速な少子高齢社会の到来、長期にわたる景気低迷、環境問題の深刻化、情報通信技術の進展など大きく変化しています。また、地方を取り巻く情勢も、さらなる地方分権の進展により、自治体の自主性・自立性が求められ、地方自治体の果たすべき役割はますます大きくなってきております。

高鍋町の将来像

住民参画による快適で美しいまち「たかなべ」

～子どもがにぎわうまちづくり～



将来像実現に向けた5つの基本目標

基本目標1

心豊かな人づくり

〈歴史〉
〈伝統・文化〉
〈教育〉

基本目標2

環境にやさしく
快適なまちづくり

〈環境〉
〈景観〉
〈安全・安心〉

基本目標3

健康福祉の
まちづくり

〈福祉・保健・医療〉

基本目標4

地域資源を活かした
元気なまちづくり

〈産業〉
〈観光〉

基本目標5 町民が主役のまちづくりと効率的で信頼される行財政運営

〈協働〉〈行財政〉



まちづくりシンポジウム

《町民・地域》

住民自治
町政参画

協働

《行政》

行財政改革
情報公開
行政評価



高鍋町役場

このため、これまでのような行政のみを担い手とする公共サービスでは限界があり、住民団体やNPO法人、さらには民間企業など、さまざまな主体と行政との協働によりサービスを提供する仕組みを構築していくことが求められております。

このようなことから、私が町長就任以来政治理念として「町民が主役のまちづくり」と、行政・地域・町民の皆さまそれぞれの役割を明らかにし、互いに手を取り合っ「協働のまちづくり」を計画の大きな柱としております。

この計画の将来像であり「住民参画による快適で美しいまち「たかなべ」～子どもがにぎわうまちづくり～」の達成に向けて、町民と行政の対話を基本に連携を深めながら、全力をあげて推進していく所存であります。若い人のみならず、誰もが住みたくなり、訪れたいくなる、そんな「高鍋町」を町民の皆さまと一緒に創造していきたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画策定にあたりまして、町民意識調査にご協力いただきました皆さま、計画案の審議にご尽力いただきました高鍋町総合計画審議会委員の皆さま、町議会議員の皆さまをはじめ、貴重なご意見をいただきました皆さま方に対し厚くお礼を申し上げます。

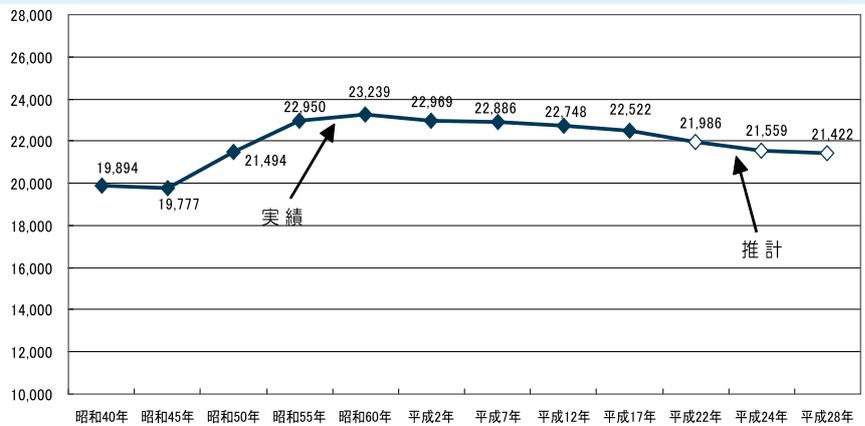


高鍋町の将来人口について

高鍋町の人口は、南九州大学および県立農業大学の開校による学生人口の増加、経済の安定成長期における周辺町村部からの流入、第2次ベビーブームなどにより、昭和45年から昭和55年にかけての10年間で人口が大きく伸びています。また、昭和61年までは、自然増加数が社会減少数を上回っていたことにより人口は微増していましたが、それ以降は社会減少数が自然増加数を上回るようになり、全国的な傾向と同様に人口の減少が始まっています。

今後、さらなる少子・高齢化の進行が予測されることから、人口は引き続き減少傾向にあるものと想定されます。

また、南九州大学の移転も人口減少の一因となっています。



将来人口フレーム

区 分	実 績				推 計			
	平成12年		平成17年		平成24年		平成28年	
	(2000年)	構成比	(2005年)	構成比	(2012年)	構成比	(2018年)	構成比
総人口	22,748	100.0%	22,509	100.0%	21,559	100.0%	21,422	100.0%
0～14歳(年少人口)	3,398	14.9%	3,115	13.9%	3,036	14.1%	2,770	12.9%
15～64歳(生産年齢人口)	14,932	65.7%	14,346	63.7%	12,808	59.4%	11,901	55.6%
65歳以上(老年人口)	4,418	19.4%	5,048	22.4%	5,715	26.5%	6,751	31.5%
世帯数	8,753	-	8,940	-	9,209	-	9,365	-
一世帯当たり人員	2.60	-	2.52	-	2.34	-	2.29	-
総就業人口	10,716	100.0%	10,557	100.0%	10,406	100.0%	10,361	100.0%
第1次産業	1,366	12.8%	1,303	12.4%	1,220	11.7%	1,174	11.3%
第2次産業	2,531	23.6%	2,182	20.7%	1,777	17.1%	1,570	15.2%
第3次産業	6,813	63.6%	7,055	66.9%	7,409	71.2%	7,617	73.5%
分類不能	6	-	17	-	-	-	-	-

目標人口

高鍋町の人口は、昭和61年の23,286人(10月1日現在)をピークに減少傾向をたどり、平成21年10月1日現在の現住人口は22,015人となっています。

少子高齢化の進行に加え、南九州大学の移転による若者人口の減少により、地域の活力や維持力の低下が懸念され、このままの状況では人口の減少と少子高齢化がさらに進んでいくことが予測されます。

このため、子育て支援施策をはじめとする各施策の総合的な推進により人口増加への転化を図ります。

なお、計画最終年度(平成28年度)における目標人口を22,000人とします。

ふるさと「高鍋町」が 魅力あるまちとして発展するために



総合計画策定の段階から、多くの町民の皆さんに審議会委員として積極的に参画していただきました。ここでは、審議会委員として関わっていただいた4人と町民の代表として2人の方にまちづくりについてお話を伺いました。



おおの え あきひろ
大上 彰弘 さん
(審議会委員：公募)

私が審議会委員に応募したきっかけは、行政への興味があったからです。

私の幼い頃は、わざわざ「安心安全」と言わなくてもどこでも安心して遊ぶことができ、集団遊びの中で心と体の「痛み」の分かる人間へと成長してきたものです。高鍋町にはその当時のように、構えなくても子どもたちが健やかに育つまちになってほしいと思います。

また、高鍋出身で児童福祉事業の先駆者である石井十次のアピールをもっと積極的に行うと良いですね。



ふくおか なおき
福岡 直樹 さん
(審議会委員)

私は昨年度、高鍋商工会議所青年部会長でしたので、商工業代表として計画の策定に関わりました。今年度は高鍋町商店街連合会会長をさせていただいています。

商店街店主の平均年齢が高くなってきており、多少の不安はありますが悲観はしていません。この若者はしっかりした方向性を持っていますから。また、まちなか再生事業に取り組んでいますが、事業成功のためには自分たち自身も変わる必要があると思っています。



はらだ けいこ
原田 桂子 さん
(審議会委員)

私は高鍋町地域婦人連絡協議会会長で、女性代表として計画の策定に関わりました。

私たち地婦連メンバーは、さまざまな団体が行う行事や活動に積極的に参加しています。参加したメンバーは、それぞれが地域に帰りその話をします。これが身近なところを見直し、自然と横の連携を取ることができるきっかけとなっています。

高鍋町全体においてもネットワークを構築すれば、お互いが元気をふりまけるまちになると思います。



はしぐち ようこ
橋口 陽子 さん
(審議会委員：公募)

私が審議会に参加して感じたことは、高鍋町の発展には人口増加が必要であり、その対策をしっかりと講じるべきだということです。

高鍋町は「文教のまち」と言われているのですから、教育部門特に小中学校の充実を図る必要があると思います。学力が伸びれば高鍋町に住みたいという親御さんも自ずと増えるのではないのでしょうか。

高鍋の子どもたちが知性にあふれ健康に育つよう、町と学校と家庭の連携を深めていきたいですね。



かとう しげとし
加藤 重利 さん
(農業従事者)

私は高鍋町認定農業者協議会副会長をしており、白菜やキャベツなどを作っています。また、飼料米オペレーターとして耕畜連携にも関わっています。

高鍋町においては今後、商工業・農業と町が一体となると面白いですよ。そのためには、さまざまな面で地元を元気にしてくれる地産地消を活発にする必要があると思います。そして、高鍋町産の安心安全な作物をたくさん食べた子どもたちの元気が成長が私の願いです。



あさの ゆうすけ
笠 勇之介 さん
(中学3年)

私は高鍋西中学校の生徒会長をしています。

西中は生徒会活動が活発で、「リーダーシップ・メンバーシップ」の両立により様々な行事を生徒自身で計画し、実施しています。高鍋町全体にこの考え方が広まると素晴らしいと思います。また西中は姉妹都市朝倉市にある秋月中学校との交流を行っています。秋月は高鍋と同じ城下町ですが、訪問時大変活気のあるまちだと感じました。高鍋の商店街にもそのような活気が出ると嬉しいです。

計画策定までの 経緯

◆平成二十年八月～十月
町内の二十歳以上の男女二千人を対象に、定住意識、まちづくりに対する分野別の評価、町政やまちづくりへの関心度、高鍋町の地域資源などについて、町民意識調査を実施。
(回答九百二十一人 四十六・二%)

◆平成二十年十一月～
平成二十一年十月
町議会議員、各種団体代表、学識経験者、公募町民の計二十八人で構成する総合計画審議会を設置。計画の具体的内容について議論(計四回)。

◆平成二十一年十一月
計画案について、パブリックコメントの実施。
(意見なし)

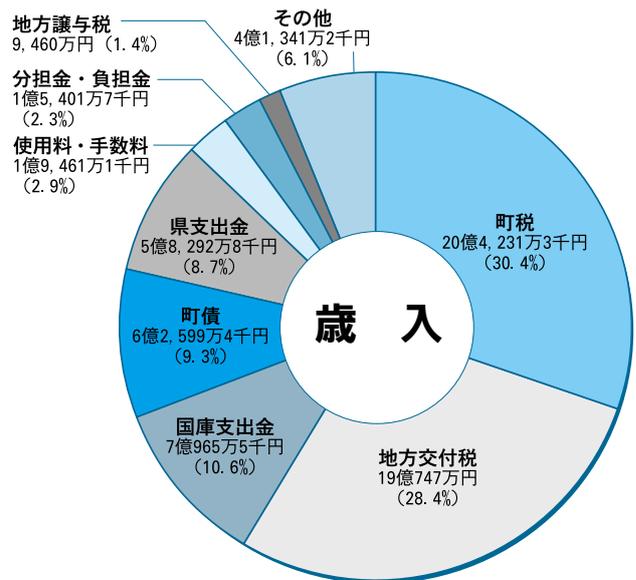
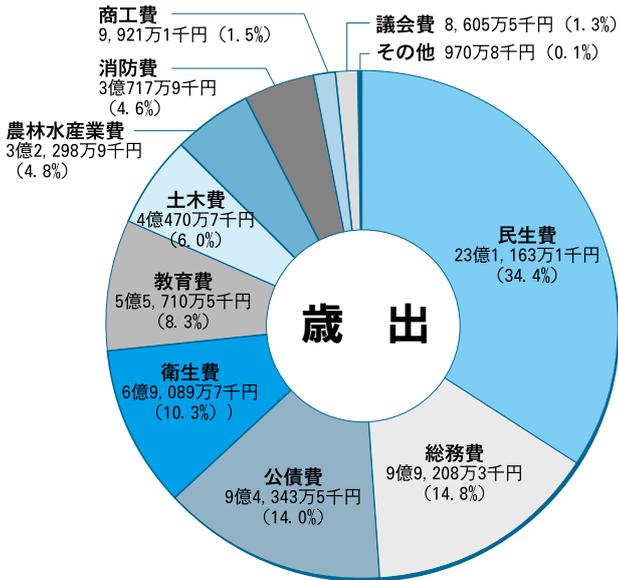
◆平成二十二年三月
町議会において議決。



平成22年度一般会計予算 67億2,500万円

町では、平成19年度から平成21年度までを「財政改革推進期間」とし、3年間で約9億3,400万円の見直しを目標に財政再建に取り組んでまいりました。期間中、歳出の抑制や自主財源の確保など行財政改革に力を入れ、さらに、国による緊急経済対策等の交付金等もあり、基金からの繰入金を実質0円で予算編成を実現させることができました。しかしながら、世界同時不況の影響から企業や個人の所得は減少し、国も多額の国債を発行している現状を鑑みると、この状況も長くは続かないと考えられます。したがって、今後も今までに以上にこうした取り組みを強化していくことが必要です。

平成22年度一般会計予算は、歳入・歳出についてさらに徹底した見直しを行い、財源不足の圧縮と経費のより一層の節減合理化に努め、「持続可能な財政基盤の確立」を図るとともに、「町民が主役のまちづくり」を目指して予算編成を行い、総額67億2,500万円（対前年度比2.4%増）となりました。



主な事業

総務費	地域グリーンニューディール事業	7,174万円	衛生費	妊婦・乳幼児健康診査事業	1,998万2千円
	屋内練習場建設事業	6,804万4千円		合併処理浄化槽設置整備補助金	2,210万4千円
	固定資産評価航空写真撮影業務委託	1,702万1千円		ごみ処理機購入補助金	75万5千円
	高鍋城灯籠まつり補助金	288万円		西都児湯環境整備事務組合負担金	2億5,135万2千円
民生費	障害者等介護給付費	1億8,568万6千円	商工費	城下町高鍋まちなか活性化事業補助金	1,600万円
	地域子育て創生事業補助金	495万2千円		スタンプカードイベント補助金	2,200万円
	子ども手当交付事業	3億1,602万円	土木費	社会資本整備総合交付金事業	9,190万円
農林水産業費	村づくり交付金事業	8,793万5千円	教育費	山下地区急傾斜地崩壊対策事業負担金	307万円
	高鍋町緊急生産調整対策推進事業補助金	2,345万9千円		防音機能復旧工事（東小冷房機改修）	1,783万7千円
	優良雌牛導入・保留対策事業補助金	255万円		コミュニティ助成事業補助金	660万円



たかなべさんの家計簿

町の予算をより身近に感じていただくために、一般会計予算を家計簿の形にして表してみました。なお金額の単位は「千万円」を「万円」に置き換えています。

収入の種類	収入額	割合	前年度割合		
給料	204万2,000円	30.4%	30.8%	自主財源	町税
パート収入や不動産収入	48万1,000円	7.1%	7.0%		使用料・手数料・分担金・負担金
貯金の取崩し	0円	0.0%	4.1%		基金からの繰入金
実家からの仕送り	357万6,000円	53.2%	48.9%	依存財源	地方交付税・国・県支出金等
借入金（ローン）	62万6,000円	9.3%	9.2%		町債
合計	672万5,000円	100.0%	100.0%		

支出の種類	支出額	割合	前年度割合		
食費	142万3,000円	21.2%	22.8%	義務的経費	人件費
医療費・教育費	132万8,000円	19.7%	15.5%		扶助費
ローン返済	94万3,000円	14.0%	14.7%		公債費
家の増改築費	44万8,000円	6.7%	10.0%	投資的経費	普通建設事業費・災害復旧事業債
光熱水費・生活用品など	80万9,000円	12.0%	10.9%	その他経費	物件費
保険料・町内会費など	84万円	12.5%	12.1%		補助費等
子どもへの仕送り	85万9,000円	12.8%	13.1%		繰出金
親戚への援助	4万4,000円	0.7%	0.4%		投資及び出資金・貸付金
家・車の修繕費	2万3,000円	0.3%	0.4%		維持補修費
貯金	1,000円	0.0%	0.0%		積立金
臨時出費への備え	7,000円	0.1%	0.1%		予備費
合計	672万5,000円	100.0%	100.0%		

☆収入について

給与やパート収入、不足分の貯金取崩しといった、自分で得た収入（自主財源）は全体の約37.5%で昨年より4.4ポイント減となりました。借入金も若干増えますが、今年は、実家が景気の浮揚を狙って仕送りを増やしてくれることになっているため、貯金の取崩しをする必要がなくなりました。実家は無理をして援助している面も見受けられますので、手放して喜んでばかりはいられません。

☆支出について

今年度から開始となる「子ども手当」の影響もあり、医療費・教育費が4.2ポイントも増えています。「国民健康保険」「介護保険」等への繰出金である子どもへの仕送りが0.3ポイント減ったとは言え、合わせると全体の3分の1を占めているのが現状です。少子化・高齢化社会対策のためにも社会保障に関する経費は年々増加しています。収入の増加が見込めない現状では、他の支出の状況を見ながら節約に努め、計画的に執行していく必要があります。

☆貯金について

平成21年度末の基金（町の貯金）残高は13億6,408万5千円で、金額の「千万円」単位を「千円」単位に置き換えると136万4,085円になります。財政健全化への取り組みもあり、昨年度末から353,029円（3億5,302万9千円）貯金が増えましたが、それでも年収（予算額）の20%程度にしかありません。これは、ご近所（近隣市町村）からするとまだまだかなり低い預貯金となっています。

☆借金について

平成21年度末の町債（町の借入金）残高は71億8,370万円で、金額の「千万円」単位を「千円」単位に置き換えると718万3,700円になります。昨年度末から9万3,001円（9,300万1千円）減りました。

特別会計

	対前年度比
●国民健康保険	26億8,688万1千円 △1.5%
●老人保健	568万3千円 △76.8%
●後期高齢者医療	3億9,710万円 1.2%
●下水道事業	4億2,246万円 3.9%
●介護保険	14億2,346万1千円 2.8%
●介護認定審査会	1,150万8千円 1.0%
●都市計画畑田土地区画整理事業精算金	319万5千円 △5.4%
●一ツ瀬川雑用水管理事業	2,056万9千円 0.0%

●水道事業

	対前年度比
[収益的]	
収入	4億3,626万5千円 △1.3%
支出	4億6,736万8千円 △1.6%
[資本的]	
収入	1億2,940万2千円 △63.8%
支出	3億3,292万2千円 △41.7%

特別会計の総額（水道事業を除いた8会計）は49億7,085万7千円で、前年度に比べ微減（78万5千円減）となりました。

シリーズ 子どもがにぎわうまちづくり ①



子育てを楽しみたい！そんなあなたへ…

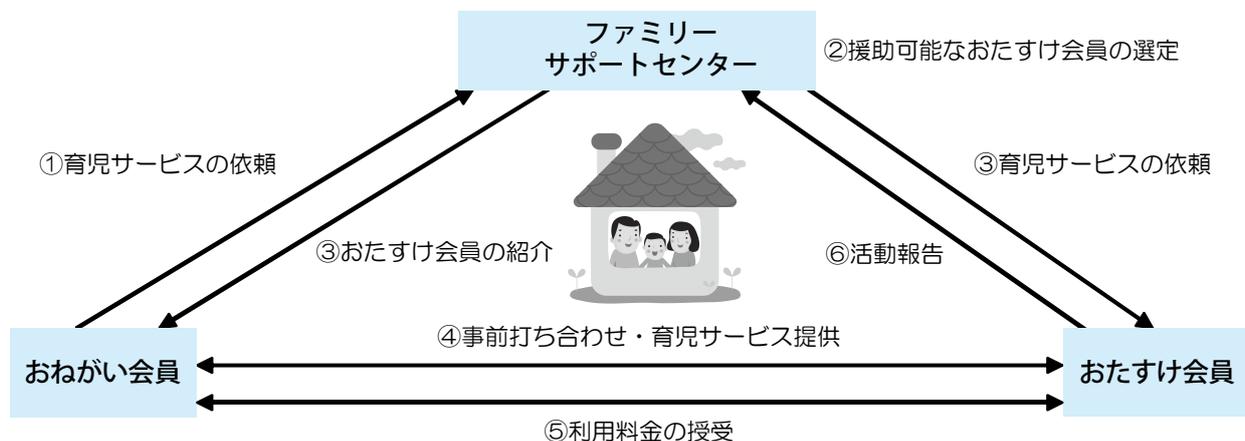
「ファミリーサポートセンター」

ごあんない

ファミリーサポートセンターとは、育児の手助けをしてほしい人（おねがい会員）と育児の協力をしてくれる人（おたすけ会員）が地域の中で育児の相互援助活動を行う組織です。

昔は大家族が多く、自然に「みんなで子育て」をしていました。しかし、現代の家族形態は核家族が多く、孤立した子育てとなるケースが見られます。

「残業で保育所へ迎えに行けない」「参観日に下の子をみてほしい」など忙しいときはもちろん、「誰かと話したい」「子育てに疲れた」「病気はほとんど治ったけど保育園の集団生活に入れるのはちょっと…」など困ったときにお手伝いをするのがファミリーサポートセンターです。地域のおばちゃんたちのあったかい子育てが魅力のファミリーサポートセンターにあなたも会員登録してみませんか。



★高鍋町ファミリーサポートセンターの優しく元気な職員の方々にお話を伺いました！



こんにちは！ 高鍋町ファミリーサポートセンターです！

高鍋町ファミリーサポートセンターは、高鍋町からの委託を受け、石井記念にしん保育園内に事務局を置いています。

平成21年度末の会員数は、おねがい会員が102人、おたすけ会員が31人、両方会員が2人です。また、5月21日にはおたすけ会員養成講座の開催を予定していますので、会員増による活動内容のさらなる充実が図られると期待しているところです。

初めての子育てで緊張しているお母さんや、転勤族で近くに頼る人がなく日中は一人で子育てをしているお母さんが、人生経験豊かなおたすけ会員さんとの出会いにより、表情があっかくな変わっていく様子をよく見かけます。このような時は、ファミリーサポートセンター事業が単純な預かりサービスだけではなく、総合的な子育て支援事業なのだと改めて感じますね。

会員さん同士の交流を図るふあみさぼ交流会は、「ほっとする時間でした」「子育て先輩の話を聞いて良かった」という参加者の感想をいただき、楽しくも貴重な時間となりました。

子育て中のお母さん、お父さん、いつでも会員登録を受け付けていますよ。ご連絡をお待ちしています！！

◆お問い合わせ◆ 高鍋町ファミリーサポートセンター TEL：23-3603

おねがい会員

- ☆高鍋町内に在住・勤務・在学中の方
- ☆原則として、生後3カ月～小学生までの
お子さんをお持ちの方
- ☆センターの実施する説明会に参加した方



おたすけ会員

- ☆高鍋町内に在住で心身ともに健康な20歳
以上の方
- ☆センターの実施する養成講座を受講した方
- ☆自宅で安全に子どもを預かることのできる方



★実際にサービスを依頼したおねがい会員さんとサービスを提供したおたすけ会員さんに
利用した感想を伺いました！



《おねがい会員》

とよだ まき
豊田 真季さん
こうき
晃旭くん(4歳)
はるか
悠ちゃん(2歳)

私は、この事業がスタートすると同時に会員登録をしました。実は、この事業があるから安心して仕事を始めることが出来たのです。当初は子どもの病気回復時、ひと月に4～5回は利用したと思います。お金は多少かかっても仕事を休むストレスを考えると、この事業は本当にありがたいものでした。1対1なので私も安心だし、子どもも個人の家だから安心していただのでしょうか。泣かずに過ごしたようでした。

今年から町の助成があり、大変利用しやすくなったと思います。私と同じように子育てをしているお母さん、この事業は本当におすすめです！！



《おたすけ会員》

いのうえ じゅんこ
井上 順子さん

転勤族だった私は、子育て時代に子どもを誰にも預けられず苦労していました。でも転勤先での上の子の健診の時、近所の方が下の子を預かってくれたのです。私はとても感激して、自分が誰かに手を差し伸べられる年齢になったときはお手伝いをしようと思ったものでした。おたすけ会員となったのもこの時の思いがあったからです。

今は、この事業を通して私自身も年齢が違うお母さん方とのつながりができ、自分の子育てを思い出しながら楽しんでいます。1対1で行うこの事業は目が行き届くすばらしいサポートなので、たくさんの方に利用してもらいたいですね！

高鍋町からのお知らせ



子どもたちが健やかに育ち、お母さん・お父さんが楽しんで子育てができるような環境づくりのお手伝いとして、平成22年度からファミリーサポートセンター利用料金を高鍋町が一部助成します。

従来利用料金

月曜～金曜 7:00～19:00	子ども1人1時間あたり 500円
月曜～金曜 19:00～7:00 土・日・祝日・年末年始 7:00～19:00	子ども1人1時間あたり 600円
土・日・祝日・年末年始 19:00～7:00	子ども1人1時間あたり 700円



平成22年度からの利用者負担額

月曜～金曜 7:00～19:00	子ども1人1時間あたり 200円
月曜～金曜 19:00～7:00 土・日・祝日・年末年始 7:00～19:00	子ども1人1時間あたり 300円
土・日・祝日・年末年始 19:00～7:00	子ども1人1時間あたり 400円

※年末年始：12月29日～1月3日

- 活動時間 7:00～22:00の間(原則)
- 援助依頼受付 7:00～19:00(日曜祝日・年末年始を除く)
- 利用料金 上欄参照(入会金・年会費は無料です)
- ※同一世帯の2人目からの利用は半額となります。
- ※活動は、原則としておたすけ会員の自宅で行います。

◆お問い合わせ◆

高鍋町 健康福祉課 子ども支援係 TEL: 26-2010

平成22年度 高鍋町消防団幹部・部長のみなさん



(左から) 後列：仲武6部部長、森之本7部部長、白川8部部長、林9部部長、井戸川10部部長、榎原11部部長、河野12部部長、壹岐13部部長
 中列：又川本部部長、田上直轄部部長、甲斐ラッパ隊隊長、杉田1部部長、脇本2部部長、松井3部部長、染矢4部部長、熊本5部部長
 前列：日高生活安全係長、森下指導員、後藤副団長、坂元団長、橋東児湯消防組合救急課長、矢野副団長、加藤指導員、寺原消防主任

平成22年度高鍋町行政事務連絡員を紹介します

行政事務連絡員は、町長から委嘱を受けた非常勤特別職の地方公務員で、任期は4月1日から翌年の3月31日までの1年間です。

町広報紙をはじめとした文書等の配布や町として周知していただきたい情報の伝達など、行政事務を円滑に進めるためのさまざまな業務に従事していただいています。



行政区名	氏名	行政区名	氏名	行政区名	氏名
蚊口西の二	西森幹太	旭通	鈴木光子	水除	福川吉春
蚊口西の一	柏木昭子	上町	凶師義孝	正ヶ井手	河野幸雄
蚊口中	田中敏文	松原町	白石秀人	小丸団地	五味守吉
蚊口上	小森正隆	小丸	松原敏男	小丸出口	梅木實雄
蚊口下	大山三津夫	小丸下	内田郁夫	上江団地	迫田親友
堀の内団地	磯野浩藏	畑田	吉野有三	馬場原	財津吉和
堀の内	宇治橋良廣	小丸上	武田康雄	中川原	松長宗男
下永谷	山口満	後小路	結城秀範	川田	橋口孝一
上永谷	三輪勝範	宮越	大泉秀雄	羽根田	小林一男
雲雀山	吉田辰男	宮越上	日野正勝	青木	黒木洋史
水谷原	加藤智徳	南宮越	椎榮治	老瀬	安藤節男
越ヶ溝	小河寅雄	道具小路西	木俵靖博	牛牧	坂本幸
毛作	野村勝	道具小路東	河原紀義	南牛牧	小幡晴美
新山	宇田英二	道具小路南	立川巖	市の山	日野良信
大平寺	間野義則	中鶴	後藤睦尋	中尾	本多光幸
脇	長友正三	樋渡	久保田洋	小並	平川高久
舞鶴団地	井上和裕	下屋敷	本部哲男	竹鳩	川野實
大工小路	松岡信博	菖蒲池西	津曲智邦	切原	岩切義和
宮田	佐藤哲朗	菖蒲池東	黒木英浩	兀の下	前田廣実
筏	井上重行	大池久保	高橋憲三	坂本	温水重徳
蓑江	守部信秋	御屋敷	荒川勇	鬼ヶ久保	岩村賢
南町	黒木旭	萩原	仲武正臣	俵ヶ橋	猪上武雄
十日町	上野正彦	黒谷	高千穂昇	染ヶ岡	戸松隆
六日町	染矢正弘	松本	竹内素郎	家床	榎原久男
石原	西村武康	山下	小長野實	持田	児玉康宏
東町	大薄浩二	西平原	原國雄	持田団地	宇野富子
中央通	前田富洋	北平原	稲倉宗文	正祐寺	矢野哲男
中町	武末喜久治	東平原	谷口敏明	鳴野	木俵秀明

※行政事務連絡員に関するお問い合わせは、総務課行政係（TEL：26 - 2001）へ。

《姉妹都市交流》 米沢市長による授業

四月十三日、東西中学校で姉妹都市米沢市の安部三十郎市長による交流授業が行われました。

授業は、米沢市や上杉鷹山公についてのクイズから始まり、米沢・朝倉・高鍋藩主の血縁関係によるまちの関係など大変分かりやすい内容でした。また高鍋藩の学問を大事にする気風が名君と呼ばれた鷹山公を育てたこと、皆さんはその風を持って学んでいることに誇りを持って頑張っていることと激励されました。

「いきなりの成功はない。人生のテーマを持って失敗してもコツコツとやる。それを重ねていくのが人生」安部市長



安部市長へ授業のお礼を述べる東中学校2年生の渡部玲さん



高鍋の中学生と給食時間を共にし、部活動やテレビ番組などの話で楽しく交流された安部市長(左)



◎春一色の城下町たかなべ

三月二十日から四月十一日まで舞鶴公園桜まつりが行われました。期間中はステージイベントや各種スポーツ大会があり、多くの町民でにぎわいました。今年のステージイベントの日は、桜の満開時期と重なり、時折桜が舞う風情のある一日となりました。



楽しいエイサー踊りを披露した役人(やくんちゅ)の皆さんと笑顔の町民の皆さん



東西小学校の野球とサッカー少年団がそれぞれ交流試合を元気に行いました

◎誇り高き香りが漂います

三月二十六日、道具小路西に住る戸田牧夫さんの親族が保管していた上杉鷹山公直筆の掛け軸が高鍋町へ寄託されました。これは、第七代藩主秋月種茂公の孫にあたる種任公の結婚を祝う鷹山公からの書簡を掛け軸にしており、歴史総合資料館に展示されます。



◎高鍋観光の拠点がまちなかへ

三月三十一日、「城下町高鍋まちなか活性化事業」を活用し、高鍋町観光協会事務局が役場から六日町の空き店舗へ移転しました。高鍋産米粉使用のお菓子販売を含む高鍋紹介情報が満載の、旬の注目スポットです！



商店街に新しい賑わいを創出する第一歩として期待される高鍋町観光協会事務局

◎地域に溶け込む高鍋交番

三月二十六日、高鍋警察署高鍋交番がしんきん通りの旧交番向い側に落成しました。地域密着と地域の安心安全を目指すお巡りさんは「町民の皆さん、気軽に立ち寄ってください」と話していました。



コミュニティルームや障害者用トイレが設置してある、バリアフリーの明るい新高鍋交番

◎石井十次の精神を紡ぐ

四月十二日、中央公民館で第十九回石井十次賞贈呈式(受賞者は愛媛県の社会福祉法人「愛媛慈恵会」)および石井十次生誕記念式典が行われました。顕彰意見発表では、町内の五人の小中高生が、学校で学んだ十次についての学習が自分の成長につながったなどと発表を行いました。



※石井十次賞は、高鍋出身でわが国の児童福祉事業の先駆者である石井十次の精神と実践を継承し、発展させることを目的として創設されており、毎年個人または団体を選出。

大雨や洪水などの気象警報・注意報が市町村ごとに発表されます

これまでの気象庁による警報や注意報発表は、「北部平野部」や「西都・高鍋地区」のように市町村をまとめた地域で行ってききました。5月27日(予定)からは、「高鍋町」「新富町」「西都市」などと市町村を明示して発表しますので、警戒や注意の必要な市町村がより明確になります。

これは、土砂災害や浸水、洪水の危険性が身近に迫っていることを知らせる発表ですので、「高鍋町」が発表された場合は、これまで以上にご注意ください。

ただし、テレビやラジオにおいてはこれまでどおりの地域で発表する場合があります。

詳しくは、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp>) をご覧ください。



◆国勢調査員募集中!! ※詳しくは「高鍋町ホームページ」または「お知らせたかなべ」をご覧ください。政策推進課 情報政策係 (TEL: 26-2003) へ。

わが町の宝物

みんな元気に育ってね。

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。

今回は、3月・4月の健診に来た元気なちびっこたちです！



のべつ さくや
野別 朔椰 ちゃん



ひらはら みつき
平原 美月 ちゃん



やまぐち けん
山口 健 ちゃん



やました みさき
山下 美咲 ちゃん



さかちと たける
坂本 雄琉 ちゃん



おおにしり お
大西 梨央 ちゃん



かわの えいた
川野 瑛太 ちゃん



かなざき りく
金崎 陸 ちゃん



しまだ ゆう
島田 優 ちゃん



いいざこ かなた
飯迫 颯太 ちゃん



なめりかわ はな
滑川 羽那 ちゃん



こだま ひなた
児玉 陽向 ちゃん



いけだ ひろま
池田 颯真 ちゃん



いちき りきと
一木 力斗 ちゃん



いずみ ゆうと
泉 優音 ちゃん



ひぐち ようしゅん
樋口 陽春 ちゃん



わかすぎ まなと
若杉 真和 ちゃん



かわの ゆうま
河野 佑真 ちゃん



さいとう りょうすけ
齊藤 涼介 ちゃん



しみず あいか
清水 亜依桜 ちゃん



くろぎ きらり
黒木 煌 ちゃん



かりや あんり
假屋 杏梨 ちゃん



ほろち こうみ
堀内 虹末 ちゃん



みろく れんた
彌勒 漣太 ちゃん



みやた そうる
宮田 奏瑛 ちゃん



はしべち あいと
橋口 愛叶 ちゃん



しいば さや
椎葉 紗也 ちゃん



おおき のぶひろ
大木 信央 ちゃん



ひの こうだい
日野 広太 ちゃん



おおかわ まな
大河 真愛 ちゃん



さいとう まなみ
齊藤 愛心 ちゃん



かねこ なおや
金子 尚哉 ちゃん

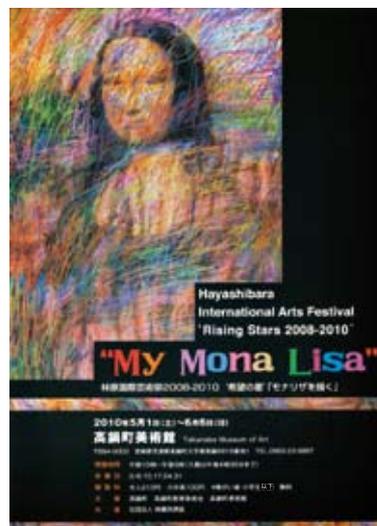
広報たかなべ 2010. 5. 21 NO. 364

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>
※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



人口と世帯数(5月1日現在・前月比)

人 口／21,747人 (±0)
男 性／10,385人 (-16)
女 性／11,362人 (+16)
世 帯 数／8,985世帯 (+7)



高鍋町美術館で六月六日まで開催中の「マイモナリザ展」。日本をはじめ、アジアの障がいをもつアーティストたちが描いたモナリザの、九州初の展覧会です。豊かな感性で描かれたさまざまなモナリザをこの機会にぜひご覧ください。